

脆弱性診断の内製化を

成功 に導く **AeyeScan**

- いつでも誰でも診断できる環境をご提供 -

セキュリティ対策に、 こんな課題はありませんか？

コストに不安がある

Web開発・リリースが増え
セキュリティ対策の
費用がかさむ

セキュリティ対策に 不安がある

セキュリティ対策を
徹底してやりきれていない

人材不足に陥っている

社内でセキュリティ対策をする
人材が不足している

状況把握ができていない

開発委託先ベンダーが複数で
セキュリティ対策状態が
把握できない

選択肢が多い

セキュリティ対策を
内製化したいが
何を導入すべきか悩んでいる

セキュリティ対策の必要性は増している

リリース頻度の増加や開発手法の変化により、脆弱性診断の数は増加傾向

Web需要が高まり、開発・リリースそのものが増加

開発が高速化し、リリースサイクルも早まっている

DevOps（アジャイル開発）により、
高頻度かつ部分的に実施できる診断の需要が高まっている

しかし現状は・・・

既存の診断手法では追いつけない状況

Web開発・リリースが増え、セキュリティ対策の費用がかさむ

社内でセキュリティ対策をする人材が不足している

セキュリティ対策を徹底してやりきれていない

有償契約
100社以上

 **AeyeScan** (エーアイスキャン) により
セキュリティ対策にかかる **コストを削減!**

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1 ※

※富士キメラ総研調べ「2023ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
(Webアプリケーション脆弱性検査ツール(クラウド)2022年度実績)

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造



インフラ



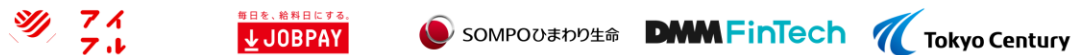
出版メディア



SaaS



金融



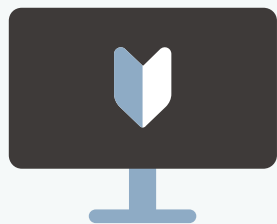
SI・IT企業



セキュリティ企業



AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作
トレーニング不要



開発やセキュリティの知識がなくても、
すぐに診断を実施可能。



24時間自動で診断
AI活用で精度が高い



巡回精度が高く、漏れがない。
しかも画面遷移図も確認できて
わかりやすい。



わかりやすいレポート
ガイドラインに沿った診断項目

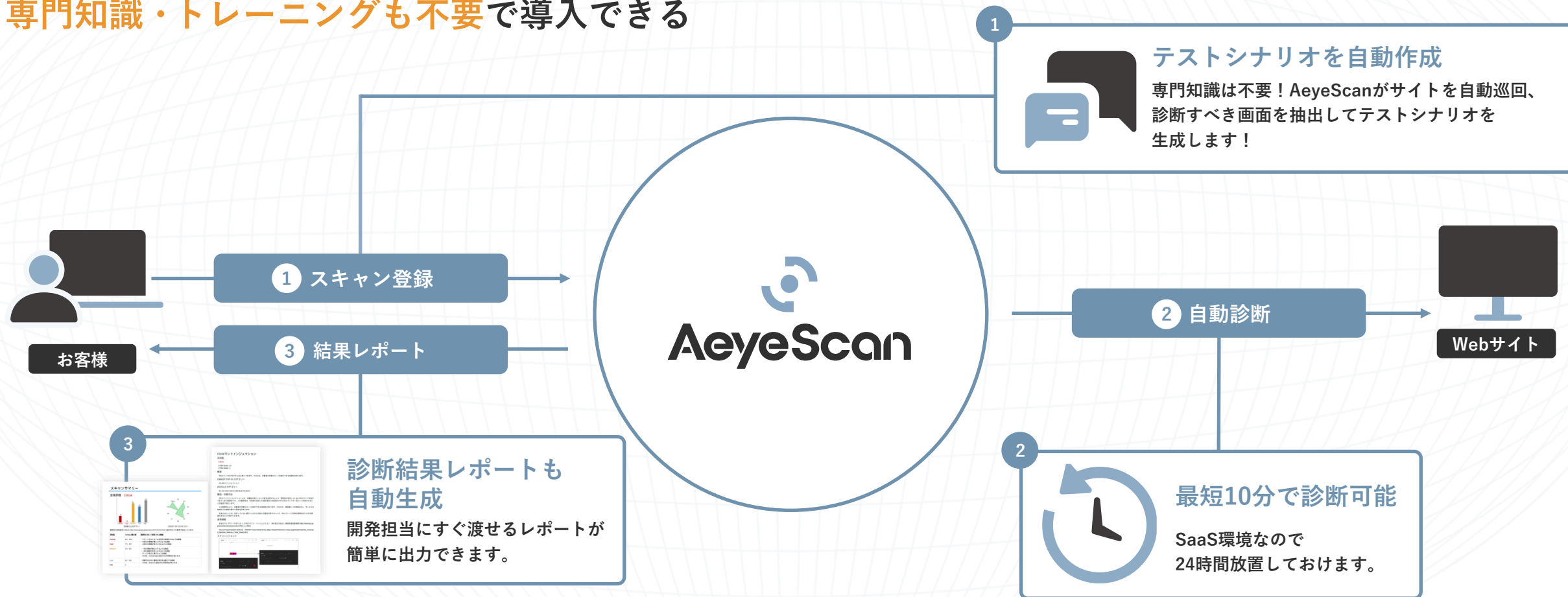


外部に診断依頼していた時のレポートと
遜色ないものが出力できる。

ポイント01 学習コストゼロ! 最短10分で利用可能

AeyeScanのポイント

専門知識・トレーニングも不要で導入できる

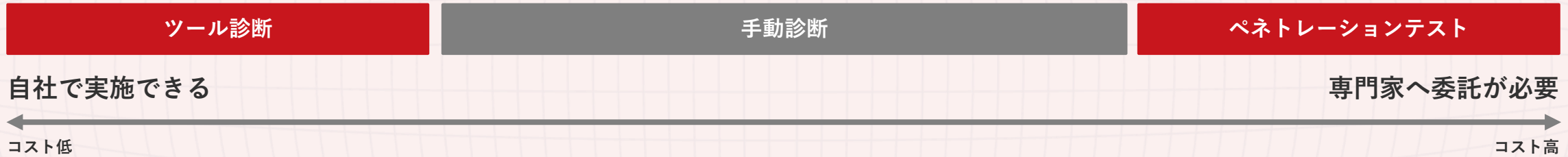


ポイント02 本格的な脆弱性診断を内製化できる

AeyeScanのポイント

脆弱性診断を内製化することで、コスト・時間・労務負担を削減できる

従来は専門家に依頼しないと診断できない範囲が大きかった



AeyeScanでは手動による診断作業の大半を自動化できて内製化が可能に



AeyeScanのポイント

ポイント03 自動巡回のカバー範囲が広い

AI活用のレベルが高いため、自動巡回が高精度で範囲が広い

例：AIによるフォーム入力値の判断処理

課題

フォーム入力は正しい値を入力する必要がある。
間違えると、入力エラーとなり遷移できず診断が進まない…

AeyeScanなら、
正確に入力値を推測して巡回！

ココがポイント

名前や住所など決まった項目だけでなく、
どんな項目にも対応！

例えば  クレジットカード

 画像アップロード

フォームを自動認識しラベル化

登録フォーム

姓名	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

確認する →

自動認識したラベル(赤枠)に応じ
適切な入力値を設定

姓名	
姓名(カタカナ)	
姓名(ひらがな)	
姓	
名	
姓(カタカナ)	
名(カタカナ)	
姓(ひらがな)	
名(ひらがな)	

正常遷移

適切な値を入力

登録フォーム

姓名	巡回 太郎
郵便番号	000-0000
住所	東京都 江東区...
電話番号	03-0000-0000
メールアドレス	taro@example.com

確定 →

ポイント04 セキュリティを熟知した開発チーム

| AeyeScanのポイント

脆弱性の最新状況にすばやく対応できる

未知の脆弱性を発見できる能力を有したエンジニア陣が、常にアップデートを実施。変化の激しいセキュリティの最新状況に対応し続けています。

弊社でApache Struts 2の脆弱性を発見・報告

概要

Apache Struts 2において、 任意のコードが実行可能な脆弱性(S2-061)

The Apache Software Foundationが提供するApache Struts 2には、不適切な入力確認(CWE-20)に起因する任意のコードが実行可能な脆弱性が存在します。

この脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警告パートナーシップに基づき下記の方がIPAに報告し、JPCERT/CCが開発者との調整を行いました。

報告者：株式会社エーアイセキュリティラボ 安西真人氏

問題

“Apache Struts 2”には、任意のコード実行の脆弱性が存在します。



攻撃者

① 攻撃者が“Apache Struts 2”に悪意のあるリクエストを送信



任意のコードを実行されてしまう ②



“Apache Struts 2”を使用したWebアプリケーションが動作しているサーバ

弊社でDjangoの脆弱性を発見・報告

概要

DjangoのExtract関数およびTrunc関数 におけるSQLインジェクションの脆弱性

The Apache Software Foundationが提供するDjangoは、Webアプリケーションフレームワークです。Djangoの日付操作のExtract関数およびTrunc関数には、SQLインジェクション(CWE-89)の脆弱性が存在します。

この脆弱性情報は、次の方が製品開発者に直接報告し、製品開発者との調整を経て、製品利用者への周知を目的にJVNでの公表に至りました。

報告者：株式会社エーアイセキュリティラボ 吉開拓人氏

問題

“Django”のExtract関数およびTrunc関数には、SQLインジェクションの脆弱性が存在します。



攻撃者

① 攻撃者が“Django”を利用して構築されたWebサイトに、
悪意のあるリクエストを送信



データが改ざんされたり、消去されたりする ②



“Django”を利用して構築されたWebサイト

ポイント05 診断範囲が分かりやすい

AeyeScanのポイント

巡回時に、**自動で画面遷移図**を生成。**診断範囲が可視化**され分かりやすい

参照：AeyeScan コントロールパネル

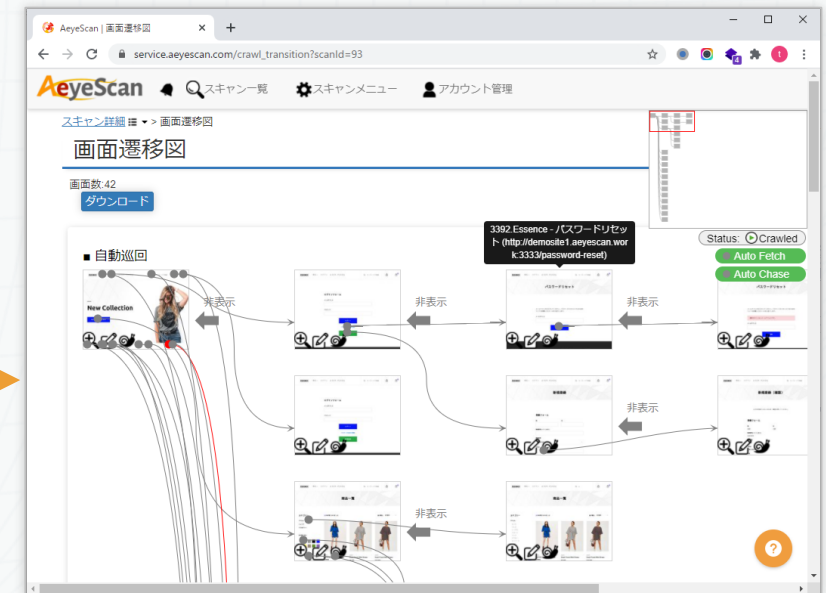
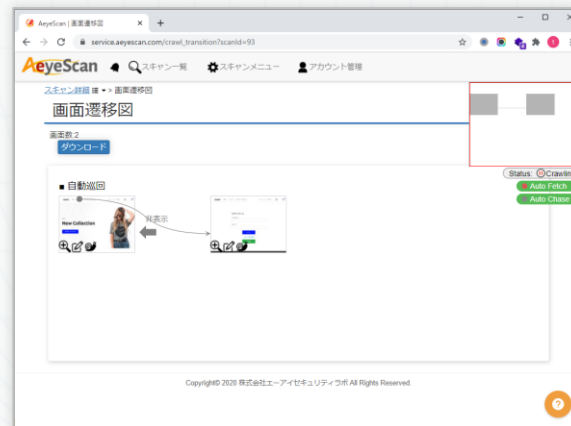
課題

遷移が正しくできていないと、
どこからリンクされている画面か分からなかった

AeyeScanなら、
自動作成された画面遷移図でエラーも瞬時に把握！

ココがポイント

存在しないページなどの404エラーも
すぐに発見できる



ポイント06 業界標準の幅広い脆弱性に対応

AeyeScanのポイント

各種セキュリティガイドラインの**自動化可能な項目**に対応



OWASP TOP10

日本語版PDFは[こちら](#)



OWASP アプリケーション
セキュリティ検証標準

[OWASP github](#)



IPA 安全なWebサイトの作り方

PDFは[こちら](#)

！ココがポイント

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施した2021年度セキュリティ製品の有効性検証において、有識者会議による審査の結果、AeyeScanが選定されました。

ポイント07 充実のレポートを様々な形式で出力可能

AeyeScanのポイント

エンジニアに向けた脆弱性の説明だけでなく、リスク一覧や結果サマリなど、報告シーンに合わせて使える充実のレポートが様々な形式で出力できる



様々な形式でカンタンに
自動生成ができる！

ココがポイント

担当者のレポート作成業務がなくなるだけでなく、経営報告や開発部門にそのまま渡せる内容が網羅されているため、担当者の大幅な業務効率化を実現できます。

生成AIの活用による高度な自動化を実現

オプション機能

1 診断設定がさらにカンタンに

- ・フリーフォーマットでの指示



特許 第7320211号

2 巡回がより柔軟に進化

- ・多言語対応
- ・フリーフォーマットでの指示
- ・画面の自動類似判定



特許 第7348698号

4 高度なレポート出力も可能に

- ・診断結果を元に総評を生成



3 手動で診断していた項目にも対応

- ・パラメータの用途を推測
- ・セッションIDの規則性を解析



特許 第7344614号

導入事例紹介

タイガー魔法瓶 様



企業名 タイガー魔法瓶株式会社

事業内容 生活用品総合メーカー

従業員数 769人 (2023年6月時点)

課題

診断を外注していたが、コストとスケジュール調整が負担になり、内製化を検討

具体的な課題

- ① セキュリティ人材の確保が困難
- ② 外注コストの膨張
- ③ 診断調整の負担増

脆弱性診断には専門的なスキルやノウハウが必要となるが、社内での人材確保は難しく、外注せざるを得なかった。1サイトの診断に数百万円単位のコストがかかる上に、診断実施までの調整コストも膨らんでいた。

導入

自動巡回の精度や脆弱性の検知率等で比較。最も信頼できるAeyeScanに導入決定

導入の背景

- ① 脆弱性診断の「内製化」を目指したい
- ② 過検知・誤検知が少ない製品を探していた
- ③ コストを削減したい

自分たちで使いこなせるかを重視しつつ、自動巡回の精度、検知率等を定量的に比較。AeyeScanで特に評価したのは「自動巡回機能」と「診断精度」だが、大幅にコスト削減できる点も導入の決め手。

効果

年1回の定期診断を実施。
自動巡回機能で大半の作業を自動化。
大幅な負荷軽減に

具体的な効果

- ① 作業の自動化による担当者の負荷軽減
- ② セキュリティレベルの担保に有用
- ③ GUIが使いやすく、教育も容易

「自動巡回機能」により、大半の作業を自動化。直感的に作られたGUIは使いやすく、使い方の共有もしやすい。クラウドサービスならではの、こまめな機能改善も好印象。

導入事例紹介

エイチ・アイ・エス 様



企業名 株式会社エイチ・アイ・エス

事業内容 総合旅行会社

従業員数 10,849人 (2023年6月時点)

課題

セキュリティの内製化が困難。
診断の外注コストを削減したい

具体的な課題

- 1 社内からの診断依頼が増え続けていた
- 2 診断対象が多く外部委託せざるを得ない
- 3 外注による診断コスト増

内製・外製含め100を超えるWebアプリケーションがあり、内部の体制だけでは全ての診断実施に対応できず、一部を外部に委託。コスト削減と体制整備が課題だった。

導入

情報処理推進機構（IPA）の検証結果と
「7割以上自動化」という点が決め手

導入の背景

- 1 手動の診断では対応が追いつかず自動化を検討していた
- 2 自動化できても性能が落ちない製品を探していた

手動作業を伴う診断では対応が困難になり、診断の自動化を検討。AeyeScanは、IPAの検証結果が高評価だったことと、「7割以上の自動化が可能」という点が決め手で導入。

効果

診断・レポート作成工数を大幅に削減。
さらなる内製化比率の向上を目指す

具体的な効果

- 1 診断の大部分を自動化し工数を削減
- 2 レポート機能により大幅に時間を短縮
- 3 リリース前に診断と脆弱性改修が完了

「脆弱性が発覚しても、リリースまでに修正が間に合わない」という悩みも解消され、脆弱性を潰してからアプリをリリースできるように。

導入事例紹介

富士ソフト 様



企業名 富士ソフト株式会社

事業内容 システム開発

従業員数 8,991人 (2023年6月時点)

課題

セキュア開発ルール+運用円滑化のため
簡易で低コストの診断方法が必要な状況に

具体的な課題

- ① セキュア開発対応にばらつきがあった
- ② ルール徹底にはコスト増が避けられない
- ③ 開発競争力の維持にはコスト抑制が必須

セキュア開発に関するルールを策定していたが、各プロジェクトに遵守させるためには簡易かつ低コストで診断できる方法が必要な状況だった。

導入

幅広い言語や開発環境に対応しているのが
AeyeScan導入の決め手の1つ

導入の背景

- ① 簡易かつ低コストな製品を探していた
- ② 運用の前提条件は過検知の少なさ
- ③ 幅広い言語や開発環境への対応が必須

一定のセキュリティベースラインを設けたいという狙い
に、AeyeScanが合致。幅広い言語や開発環境に対応し
ているだけでなく、脆弱性診断の経験がなくても、診断
できると感じた。

効果

AeyeScanとセキュア開発ルール整備との
両輪で**ほぼ手放しでの運用**が可能に

具体的な効果

- ① 簡単に使えるのでほぼ手放しで運用可能
- ② セキュア開発に関する知識と意識が向上
- ③ 好きなタイミングでの診断を実現

ルール整備との両輪でAeyeScanを導入した結果、診断未実施のまま納品する状況から脱却。「好きなタイミングで診断をする」という形が整った。

導入事例紹介

ラック様



企業名 株式会社ラック

事業内容 トータルITソリューションベンダー

従業員数 2,172人 (2023年6月時点)

課題

診断ニーズの高まりと
Webサイト全体への網羅的な診断要望に
対応しきれなかった

具体的な課題

- 1 診断依頼が集中して対応できない事態が増加
- 2 スケジュール・コスト面で顧客要望に
応えられないケースが発生
- 3 Webサイト全体を網羅的に診断したいという
要望への対応

専門家が深く丁寧にみるサービスの特性上、全ページを網羅的にチェックしてほしいという要望への対応が難しかった。スケジュールやコストがネックで、顧客の要望に応えられないことも。

導入

「AeyeScan」はセキュリティ診断を
内製化したい企業からの高評価、AeyeScanを
活用した「Quick WATCH」のサービス開始

導入の背景

- 1 技術評価の依頼を受けて検証を実施
- 2 日本製ならではの使いやすさと好品質な
結果を評価
- 3 セキュリティ専門家だけでなく内製化
にも利用可能と判断

手軽に使えて自社のセキュリティ診断を内製化し、設計や開発の初期段階からセキュリティを組み込むシフトレフトに取り組みたいと考える企業でも使いこなせると判断。

効果

コストや時間、リソースによって
やむを得ず対象外としてきた
ページの診断が可能に

具体的な効果

- 1 2021年11月に「Quick WATCH」
サービスの提供を開始
- 2 AeyeScanの自動巡回を利用し見積
コストを大幅削減
- 3 急ぎのニーズにも応えることが可能に

2021年11月に「Quick WATCH」の提供を開始し、網羅性と手厚い支援の両方を提供可能になった。また、人材不足で診断を内製化できなかった企業への提案も可能に。

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



会社概要

商号	株式会社 エーアイセキュリティラボ		
役員	代表取締役社長	青木 歩	
	取締役副社長	安西 真人	
	取締役	杉山 俊春	角田 茜
	執行役員 CTO	浅井 健	
	執行役員	関根 鉄平	田中 大介
事業内容	情報セキュリティ関連事業（調査・コンサルティング） セキュリティ診断クラウドサービス「AeyeScan」提供		
設立	2019年4月		
拠点	東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 11F WeWork内		
資本金	1億円		
従業員数	29名		
Webサイト	https://www.aeyesec.jp/		
取得認証	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS） ISMSクラウドセキュリティ認証（ISO27017） 情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト		

AeyeSecurityLab

セキュリティに
「あらたな答え」を提供し続ける
プロ集団



IS 752963 /
ISO 27001

CLOUD 790050 /
ISO 27017 023-0026-20



AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。